

【別記3】保守点検業務内容一覧

NO. 4

■機器 空冷チラー【CAH・CA】

点検内容	点検項目	報告書記入欄	点検月											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
機能点検	運転状況の確認(運転不可の場合、停止状態で確認)	ABCDEGI		○			○			○			○	
	冷媒系統の確認 (※1)	B		○			○			○			○	
	送風機の確認	DEG		○			○			○			○	
	電気系統の確認	AD		○			○			○			○	
	保護機器の確認	CD		-			-			-			-	
状態点検	空気側熱交換器の確認	B		○			○			○			○	
	水側熱交換器の確認	B		○			○			○			○	
	パネルの確認	G		○			○			○			○	
	ドレンパンの確認	F		○			○			○			○	
	水配管系統の確認	DI		○			○			○			○	
	圧縮機の確認	A		○			○			○			○	
オプション	水質の確認			-			-			-			-	
	ポンプ・冷却塔等の付帯設備確認			-			-			-			-	
	空気側熱交換器の洗浄			-			-			-			-	
	水側熱交換器の薬品洗浄			-			-			-			-	
	ストレーナの確認、清掃(水回路) (※)			-			-			-			-	
	圧力計検査(法定点検)			-			-			-			-	
	安全弁検査(法定点検)			-			-			-			-	
	パネル塗装補修			-			-			-			-	
	遠方制御機器との連動確認			-			-			-			-	
	リモート点検			-			-			-			-	
【備考】														

注1 ○は、点検項目を示します。

注2 「報告書記入欄」は、点検完了後に提出する「空調冷熱機器保守点検作業報告書」の「点検結果」項目を示します。A：圧縮機 B：冷媒系統 C：保護機器 D：電気系統 E：送風機
F：ドレン G：外装関係 H：室内機 I：付帯設備

注3 点検内容の「※」は、ビル管法対象の場合の点検等必要項目です。

注4 第一種製造者に該当する設備の圧力計・安全弁は年1回の法定検査が必要です。

注5 機器の停止中、休止中の場合は点検できない項目があります。

注6 当院の都合により長期間停止している機器においては、圧力確認(可能なもの)・冷媒漏えい確認・外観確認を依頼します。

注7 フロン漏えい検査<定期点検>の場合、初回点検は2023年5月に実施し、点検周期は36か月周期とします。

注8 ※1 『冷媒漏れ点検』に『気密検査』は含みません。『気密検査』が必要な場合は別途依頼します。

注9 ※2 フロン排出抑制法に基づく算定漏えい量の報告は当院が行います。フロン類の漏洩量データの提出(年1回)は4月1日～3月31日の期間で集計を行った後、3ヶ月以内に病院へ送付すること。